

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用目的及び利用方法	研究の名称 消化器外科手術における術後合併症予測モデルの開発
	研究の対象 2017年1月～2022年8月までの期間に浜松医科大学で消化器癌と診断され、治療を受けた方約2000名。
	研究の目的 消化器外科手術において、術後合併症を発症すると、入院期間の延長や術後の体力低下をもたらすほか、癌腫によっては術後合併症と予後との関連も報告されています。手術技術の進化、多職種スタッフによるチーム医療の発展などにより、術後成績は改善していますが、未だ重篤な合併症は起こりえます。術後合併症の予測因子については様々な報告がありますが、未だ確立されたものではありません。この研究では、術後早期の管理に着目し、独自の術後合併症予測モデルの構築を目的としています。この研究によって術後合併症高リスク症例の特定と術後管理の改善が期待されます。
	研究の期間 研究機関の長による実施許可日から2027年3月まで
	他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
利用し、又は提供する試料・情報の項目	研究に使用する試料・情報 年齢、性別、既往歴、飲酒歴、喫煙歴、診療記録、臨床病期、治療内容、血液検査所見、画像検査所見、手術記録、病理組織学検査結果など
利用する者の範囲	機関名および責任者名 浜松医科大学 外科学第二講座 竹内 裕也
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	浜松医科大学 外科学第二講座 竹内 裕也

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下 問い合わせ先 をご確認ください。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目20番1号 浜松医科大学</p> <p>部署名： 外科学第二講座</p> <p>担当者： 羽田 綾馬</p> <p>TEL： 053-435-2279</p> <p>E-mail： r.haneda@hama-med.ac.jp</p>